

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 3名回答、回答率 100%
保護者様： 18名回答、回答率 69.2 %

職員の意見

○環境・体制整備

- ・年度内の職員体制の変更などもあり一部の職員に送迎業務の負担が偏るなど状況も見られたが、近隣教室との連携を図ることにより安全管理に努めることができた。
- ・事業所が1階にあり、玄関はスロープになっているためバリアフリーの環境も整備されている。

○業務改善

- ・法人内での研修が充実しており、職員の支援力向上に繋がっている。
- ・第三者評価に関しては実施できていないが、法人内エリアマネージャーの定期巡回指導を受け、教室環境や業務の改善につなげている。

○適切な支援の提供

- ・社内で統一したアセスメントツールの使用や心理士による個別支援計画の確認により専門性の高い支援を提供することができている。
- ・業務前後のミーティングにより子どもや保護者に関する共有事項や一日の支援の流れを確認することで支援の方向性を統一することができている。
- ・日々の集団療育は全職員で立案・実行を行い内容に偏りが生じないようにしている。
- ・個別課題に関しては定期的に内容の見直しを行い子どもの成長をより促せるようにしていく。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者とは、児童引き渡し時に必ずスタッフからその日の子どもの様子を伝えることができている。また必要に応じて家庭連携加算を取得することでご家庭や学校に関するご相談にも応じることができている。
- ・学校やキッズクラブとも児童の様子の共有を行い支援につなげることができている。
- ・協議会への参加に関しては機会があれば積極的に参加していきたい。

○保護者への説明責任等

- ・毎月のニュースレター発行を通じて教室での様子を伝えることができている。
- ・感染症対策で実施できていなかった保護者会も来年度は実施して保護者同士の連携を支援していきたい。

○非常時等の対応

- ・毎月1回避難訓練を実施して子どもと緊急時の動きを確認している。
- ・身体拘束や虐待に関しては研修やミーティングで意識の統一ができている。
- ・アレルギーに関してはおやつ提供時の職員のダブルチェックの徹底や緊急時のマニュアルの作成を行い安全に配慮することができている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・施設の広さに関しては基準は満たしており8割のご家庭からは満足していただいている。動き回するには少し狭いといった意見も頂いたのでロッカーの配置の変更をするなどの工夫を引き続き行っていく。職員の配置数や専門性に関しては高く評価頂いたので、引き続きミーティングや研修を行い職員の専門性の向上を行っていく。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムに関しては高い評価をいただいた。
- ・障害のない子どもと関わる機会はまだあまり持つことができていないので保護者や子どものニーズに合わせて今後は行っていきたい。

○保護者への説明等

- ・支援の内容や子どもの様子の共有に関しては多くのご家庭から満足いただいている。
- ・定期的に面談を行いたいという意見も頂いたので、家庭連携支援を計画的に実施していきたい。保護者同士の連携について、課外活動の見学の機会を設定することはできたが、参加できなかったご家庭も多いので来年度は保護者会や参観の機会を増やしていきたい。

○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアル等は策定し契約時に説明しているが認知度が8割程だった為、年度初めや長期休暇前に都度共有を行ってきたい。
- ・毎月の避難訓練を実施していることもあり、必要な訓練の実施に関しては高く評価頂いた。

○満足度

- ・支援の内容は高く評価していただいております、多くのご家庭から子どもが通所を楽しみにしているとの回答をいただいた。
- ・子どもの写真をもっと見たいという意見もいただいたのでブログや保護者会を通じて写真を共有できる場面を増やしていきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・地域の活動などを調査し、可能な限りで参加をする。障害のない子供との活動について保護者のニーズの調査を再度行い、保護者や利用者のニーズに合わせた交流の方法を検討する。
- ・webでの開催など、その時に則した方法で保護者会の方法での企画を行い、実行する。
- ・教室での様子を利用している保護者や地域の方に知っていただくことを目的に、ブログの更新を定期的に行う。
- ・大きな工事を行うことは難しい為、小さな段差などバリアフリーを考えてどう減らしていくのか教室内で話し合いを行う。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・障害のない子どもとの活動に関しては、課外活動で公園などを利用する際に無理のない範囲で行うことができた。
- ・課外活動の際に保護者が見学できる機会を作れたが、参加人数が少なかつたため保護者会の実施をしていきたい。
- ・教室内の棚やロッカーの配置を工夫することで安全に配慮した教室作りを行うことができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

送迎時や家庭連携を通じて保護者との密な連携を行うことで、保護者のニーズに沿った支援を行うことができている。療育活動や保護者からの相談に関しても職員の専門性を生かした支援を行うことで保護者から満足していただけている。集団療育を全職員で立案・実施することでバラエティーに富んだ内容になっている。学校休業日には課外活動や調理活動を実施し子どもが通所を楽しみにする要因になっている。

○改善点

支援の様子を実際に見たり、子どもの写真を見たりする機会が少ないので保護者会の実施やブログの更新を行い保護者へ共有していく。また障害のない子どもや地域と関わる機会が取れていなかったため課外活動を通じて関わる機会を設けていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会などの実施により、保護者同士の関わりを持つ機会を増やすことで、ご家庭への支援を強化していく。
- ・支援の内容や子どもの様子を写真などを通じてより分かりやすく発信することで、透明性の高い事業運営を目指す。
- ・運動や発散の支援が必要な子どものニーズへの対応として、課外活動や室内での運動プログラムを検討し、これまで以上に活動プログラムを充実し、よりよい支援に結びつける。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者の参加しやすい日程で保者会を実施して子どもの写真や教室内での様子を共有する。また保護者同士が繋がることのできるプログラムを組み込む。
- ・ブログを定期的に更新し子どもの様子を保護者へ分かりやすく共有する。
- ・訓練室内の物の配置や使い方に関して定期的に職員で話し合いを行い、安全に子どもが体を動かせるように工夫をしていく。
- ・活動プログラムでは体を動かさず活動を取り入れる。

スマートキッズ